

市民意識調査の結果を お知らせします



生活安心課

☎055-934-4700

市では、市民のみなさんの意見や要望を今後の市政運営に反映するため、毎年度市民意識調査を実施しています。今年度の結果を一部抜粋し、その概要を紹介します。

- Q** 障がい者(児)福祉に関心がありますか？
- A** 「とてもある」「ある程度ある」を合わせると、関心を持っている人は約7割。



年代別による関心は、10代が53.4%であるのに対して、70代以上では79.0%と、年代が上がるにつれて関心が高くなっています。

共生社会を実現するため、引き続き障がいや障がいのある人に対する理解の促進、啓発に努めていきます。

※その他結果の詳細は、市ホームページをご覧ください。 [広報めまづ](#) [検索](#)

- Q** バス・タクシー券を交付する「運転免許証自主返納支援事業」を知っていますか？
- A** 事業について知っている人は全体の6割。

年代別による認知度は、70代が71.8%と最も高い一方で、20～50代は約50%の認知度にとどまりました。家族や親族間で高齢者の免許返納を促すためにも、広い世代で支援事業を認知していただけるように、今後も啓発を行っていきます。

- Q** 本市の文化芸術を盛り上げるためにはどのようなイベントをしたら良いか？
- A** 4割以上が、アクセスのいい場所でのイベントを求めている。

アクセスの良さに加え、「市民参加型」など新しい視点でのイベントを期待する声も集まる一方で、伝統文化を体験できることを期待する声も年代を問わず集まりました。

「未来に伝えたい沼津の魅力」を表現した写真を募集します。入選作品は令和5年度版市民カレンダーに掲載します。渾身の1枚で沼津の1年を彩ってみませんか。



- テーマ** 未来に伝えたい沼津の魅力
- 応募期限** 令和5年1月13日(金)(必着)
- 応募規定** 横位置のカラープリントで四つ切サイズまたはA4サイズ
- 応募方法** 次のいずれかの方法で
- ①市役所2階広報課または市ホームページにある応募用紙を写真裏面に貼り付けて直接または郵送
- ②応募用紙と写真データ(JPEG形式、10MB以内)を添付してメールで

※メールは1通につき1枚の応募です。



- ※応募者自身が所有している未発表のもので、撮影地は沼津市内に限ります(自身のSNSで投稿したものは可。ただし、本市主催の「めぐるぬまづフォトコンテスト」に応募するために投稿したものは不可)。
- ※被写体の肖像権等には十分に注意し、応募者の責任ですべての問題を解決した上で応募してください。
- ※詳細は、応募用紙または市ホームページをご覧ください。 [広報めまづ](#) [検索](#)
- ☎広報課 ☎410-8601 沼津市役所
- ✉kouhou-photo@city.numazu.lg.jp

とっておきの一枚を 市民カレンダーに



広報課

☎055-934-4703

住民税非課税世帯等の みなさんへ

福祉臨時
特別給付金室

☎055-934-4894

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 令和5年1月31日(火)(必着)までに申請を！

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対して、生活・暮らしを支援するため、1世帯あたり5万円を支給します。

支給額

1世帯
あたり **5** 万円

支給対象と申請の有無

①9月30日時点で沼津市に住民登録があり、世帯全員の令和4年度住民税均等割が非課税の世帯

原則申請不要(確認書の返送のみ)

該当見込みの世帯には、11月16日(木)に確認書を郵送しましたので、ご確認ください。
※令和4年1月2日以降に転入者がいる世帯には確認書が届きませんので申請が必要です。

※対象となる世帯全員が、住民税を課税されている親族等から扶養を受けている場合は、支給対象外となります。
※①②の両方に該当する場合は①を優先し、重複支給はありません。

※申請方法等の詳細は、市ホームページをご覧ください。 [広報めまづ](#) [検索](#)

支給時期(目安)

確認書(または申請書)を受理した日から **2** 週間後

②申請時点で沼津市に住民登録があり、令和4年1月～12月の収入が減少し「住民税非課税相当」の収入となった世帯

申請が必要

申請時点で住民登録のある市区町村への申請が必要です。
申請書は市ホームページにあるほか、各市民窓口事務所等で配布しています。

国内外で高い評価を受け、平成5年に96歳で亡くなるまで精力的に執筆活動を続けていた芹沢光治良。沼津を愛した偉人の歴史に触れてみませんか。

企画展 光治良の欧州体験 ～「孤絶」「離愁」と「巴里に死す」～(第2回)

作家を志す転機となったフランス留学時期を、その頃の体験を基に創作した作品「離愁」などの物語に沿って、当時の直筆絵葉書などの資料を通して紹介します。

と き 12月15日(木)～令和5年5月31日(火)、9時～16時30分(入館は16時まで)

ところ 芹沢光治良記念館



※企画展の実施に伴い、展示替えのため12月1日(木)～14日(火)は臨時休館します。



沼津の偉人をもっと深く知ろう 第11回芹沢光治良文学講演会

企画展「光治良の欧州体験」に関連した講演会を開催します。

と き 令和5年1月14日(土)、13時30分～16時(開場13時)

ところ 市立図書館視聴覚ホール

講 師 鈴木吉雄さん(芹沢光治良研究者)

定 員 180人(先着順)

申込方法 12月10日(土)、9時から電話またはメールで

☎芹沢光治良記念館 ☎055-932-0255

✉kojiro@city.numazu.lg.jp



芹沢光治良記念館 からのお知らせ

芹沢光治良記念館

☎055-932-0255